

平成 28 年度第 1 回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時・場 所	平成 28 年 6 月 30 日（木）午後 1 時 30 分～ 桑名市役所多度町総合支所 3 階 305 会議室
出 席 者	委員：8 名 事務局：5 名 上下水道部職員：6 名 傍聴者：6 名
議 事 次 第	1. 開会挨拶（企画総務課長） 2. 議事 （1）前回審議会の補足説明 （2）桑名市上下水道事業経営戦略の概要について （3）その他 3. 閉会挨拶
要 旨	1. 開会挨拶 開会后、上下水道事業管理者より挨拶 出席している新任管理職の紹介 2（1）前回審議会の補足説明 ①収納率について ②水道料金、下水道使用料の他団体比較 2（2）桑名市上下水道事業経営戦略の概要について 事務局より、経営戦略について詳細に説明 ・水道事業は現在作っている単価より売っている単価の方が安い 水道料金は全国平均より安い が、下水道事業については企業債残高が非常に高い状態などから 下水道使用料は平均よりも少し高くなっている。 ・水道料金、下水道使用料に必要な投資・財政を含めると、経営戦略に 示した額の値上げが必要。 ・雨水対策は従来どおり、雨水公費・汚水私費の原則より、一般会計から の繰入金という公費で事業を進めていく。 ・経営戦略は消費税 10% で想定しているが、変更しないのか？ ⇒作成段階では 4 月増税ありきだったので、増税を含めてシミュレーション を行った。今後については現段階ではお答えできない。 ・経営戦略で有収率を向上させる目標を掲げているが、数字はシミュレ ーション上、有収率を現状維持で計算しており違和感をおぼえる。 ⇒ここには盛り込んでいない。 ・料金収入の他に安定的な収入を得るような戦略は？ ⇒保有地売却や、市全体としての企業誘致による水需要の増加を期待 ・職員年齢の構成や職員数の減少と今後の上下水道を支える職員につい て。 ⇒定年退職者の再任用制度の活用や外部委託等も行いながら効率化を 図って、下水道の普及拡大などに努めていく。 ・水道管の古いものだと、どれくらいなのか？

⇒桑名市内全域での水道管延長は約 1,000km。その中で法定耐用年数の 40 年を超えるものは約 200km。平成 26 年度で 0.44%の管路更新率を平成 29 年度以降 1.00%以上ずつ更新していこうと考えている。

・管路整備状況や延伸状況、施設整備やそれらの耐用年数の資料を次回までに準備するように。

⇒次回までに用意する。

・下水が来ているのに、繋いでいない家庭への対応は？

⇒お宅に訪問させていただき、ご説明しながら接続を勧める。

・管路の修繕は、地区を重点的に行っていくものか？

⇒向こう 10 年については、一番漏水が多い所であったり、災害の際の避難所に向けた管を優先的に耐震化していく。

・今後の具体的な工事と費用は？

⇒今後 10 年間の工事の内訳があるので、次回提出する。

・設備などの耐用年数は、どの位なものなのか？

⇒水道施設台帳という一覧になったものがあるので、次回提出する。

・図表 7 で、過去は人口が増加したのに配水量・有収水量は下がっている。一方、今後の人口減少の中でも配水量・有収水量は同じような下がり具合で減っているが、人口が減少するともっとグラフの角度が急にならないか？

⇒次回、分かるようにご説明させていただく。

・料金の改定について、上下水道事業の危機的状況を踏まえて分かりやすく広報に掲載したり、市民にもう少し PR した方がいいのでは？

⇒経営戦略はHPで掲載しており、広報でも概要をお示ししたい。

・下水道事業は、企業債残高と比較して流動資産が非常に少なく、その財務体質は非常に弱い。これを次の経営戦略も含めて考えて行かないと、一般部局の財政に跳ね返ってくることになると思う。

⇒年度内に不足額が生じるなど、下水道事業は現金預金が非常に少ない。普及拡大事業を行いながら安定的な事業運営を行うため、流動資産の確保に努めてまいりたい。

・料金改定において重要なのは、上下水道事業の実態を市民に伝えていくこと。また、この経営戦略は将来に向かってかなりのリスクを負っていると思うので、値上げするかどうかという事は色々な議論を重ねていかなければならない。次回の審議会では、市民への負担を求めていくには何が必要なのかということも含めて議論をしていきたい。

2 (3) その他

事務局より、次回審議会のテーマと開催時期について説明。次回テーマは「経営戦略の目標実現のための財源確保について」

3. 閉会挨拶

上下水道事業管理者により挨拶

(以上)